

【 ご あ い さ つ 】



松阪市は、三重県のほぼ中央に位置し、東は伊勢湾、西は台高山脈により奈良県と接する広い市域を有しています。

この市域の中には、櫛田川をはじめとする豊かな水や緑に恵まれた多くの美しい自然景観、国の重要文化財にも指定されている御城番屋敷や伊勢街道沿いの妻入りの美しいまち並みなど、歴史と文化に培われたまち並みが、今もなお数多く残されています。

松阪市総合計画において、松阪市の将来の都市像を『市民・地域の個性が光り輝き、誇りと美しさを備えた交流都市 まつさか』としており、共生と交流を深めるまちづくりに取り組んでいくためには、安全で安心できる快適な居住空間の形成、多彩な自然環境や歴史、文化の形成といった多様化するニーズを正確に把握し、的確に対応していくことが求められています。

このようなことから、松阪市の景観を市民の財産として次世代に継承し、このすばらしい多くの景観を全国に発信していくために、『松阪市景観マスタープラン』を策定いたしました。

今後、この景観マスタープランに基づき、皆さまからのご意見を活かした景観まちづくりや、将来の都市像を実現していくために、積極的な情報発信や景観形成を図ってまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、この景観マスタープラン策定にあたり、ご尽力いただきました『松阪市景観マスタープラン策定委員会』の皆さま、さらに貴重なご意見・ご提案をいただきました多くの市民の皆さまに厚くお礼申し上げます。

平成 19 年 5 月

松阪市長

下村 猛